2026年11月13日

各　　位

会社名　株式会社NEW ART HOLDINGS
代表取締役会長　白石幸生
（コード番号　7638　東証スタンダード）
問合せ先　取締役　小崎愼一郎
電　話　０３－３５６７－８０９８

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績との差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異
（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A） （2026年５月15日公表）	百万円 15,000	百万円 2,000	百万円 1,900	百万円 1,000	円　銭 58.29
実績値（B）	16,440	2,346	2,190	1,499	87.38
増減額（B－A）	1,440	346	290	499	
増減率　（％）	9.6	17.3	15.3	49.9	
（前期実績） 2026年３月期第２四半期	14,907	1,959	1,846	986	57.35

【差異の理由】

当中間連結会計期間におきましては、当社グループ全体で国内外における新規出店や新たな事業展開など、将来の成長に向けた投資を積極的に進めてまいりました。こうした中、基幹事業である国内ブライダルジュエリー事業においては、販売価格の適正化に伴い成約率への一定の影響を見込んでおりましたが、接客力の向上や商品の魅力・価値を丁寧にお伝えする販売活動の強化により、その影響を想定よりも抑えることができました。その結果、販売単価の上昇による売上増加効果が想定を上回り、売上高及び利益の増加に大きく寄与いたしました。

また、海外で最も多くの店舗を展開する台湾においても、販売価格の見直しを実施するとともに、日本からの営業支援や人材育成を強化し、販売力の向上に取り組みました。さらに、2026年８月には８店舗目を出店するなど、事業基盤の拡充を進めております。台湾市場では両ブランド

の認知度も高まっており、日本国内で培った商品品質と接客サービスを強みに、今後も継続的な利益の創出を目指してまいります。

当社グループのブライダルジュエリー事業は、お客様からのご注文を受けて商品を製作する受注生産方式を基本としており、完成品の在庫負担を抑えた収益構造を有しております。今後も、この事業特性を活かしながら、付加価値の高い商品・サービスの提供を通じて、安定した収益基盤の維持・強化を図ってまいります。

グループ全体では、新規出店や新たな事業展開に伴う費用が発生したものの、国内ブライダルジュエリー事業の収益改善効果が想定を上回り、成長投資に伴う費用負担を吸収したことから、連結売上高及び各段階利益がいずれも当初予想を上回る結果となりました。

（業績予想に関する留意事項）
本資料における業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化等により実際の業績が異なる可能性があります。